

■文化会館(マドカホール)				0歳 ～就 学前	小学 生以 上	妊産 婦	障害 者・高 齢者	その他	自己評価	来場者 満足度	入場率	事業実 施者	
ア 子どもたちや親子を中心とした音楽や演劇、ダンスなどさまざまな形での体験機会や鑑賞機会の提供に努めます。										2事業			
アートマルシェの開催(第7回子どものためのアートマルシェ)	8月	参加者	284名	○	○		○	○	市民が文化芸術にふれるきっかけづくりを目的としたワークショップ。年々定着してきており、リピーターも多い。いかに内容を充実させるかが課題。	S	S	A	S
アウトリーチ事業	中止	参加者	1名	○					コロナウイルス感染対策で、会場となる保育施設での立ち入り制限があったため中止	B	—	—	B
イ 育成団体である「岸和田市少年少女合唱団」「岸和田市音楽団」「マドカドラマスクール」の活動を支援し、輪を広げる事業展開に努めます。										2事業			
育成団体「岸和田市少年少女合唱団」「岸和田市音楽団」「マドカドラマスクール」指導者謝礼の支出	通年	指導者数	7名		○				3つの育成団体の活動を支援し、団体の質の維持及び向上を図るため、必要な支援を継続していく。	A	—	—	A
「岸和田市少年少女合唱団」定期公演の開催	1/10(日)	入場者数	141名		○			○	育成団体の活動を発表する場を支援。各団体と連携しながら今後も継続する。	A	A	A	A
ウ 公募展である市展や地域で活動する市民や団体が参加するマドカ合唱祭の充実・発展に努めます。										2事業			
第71回岸和田市市展／受賞作品展の開催	中止	入場者数	名					○	コロナウイルスによる緊急事態宣言の発出を受けて、開催を中止	B	—	—	B
		出品者数	名										
		入場者数	名										
第32回マドカ合唱祭の開催	中止	入場者数	名		○			○	コロナウイルスによる緊急事態宣言の発出を受けて、開催を中止	C	—	—	C
エ 市民文化活動の場としての文化祭について、実行委員会の活動を支援し、事業の充実・発展に努めます。										3事業			
第72回岸和田市文化祭の開催	9月～11月	入場者数	9,587名	○	○			○	昭和24年から続いている文化祭は、市民の文化活動の成果を発表する場として定着しており、参加団体も多く、一定の成果をあげている。	B	B	B	B
文化振興功労者表彰式	11/5(木)	入場者数	12名					○	文化、教育、スポーツ等の功労に対する表彰式典。	S	S	A	S

■文化会館(マドカホール)				0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	自己評価	来場者満足度	入場率	事業実施者	
文化祭記念コンサート	11/1(日)	入場者数	149名					○	感染症拡大防止の観点から一堂に会して表彰式を行う祝典を中止したことにより、文化の日祝典とは別実にコンサートを実施。来場者数を抑えての開催となったが、申込者も多く来場者の反応もよかった。	S	S	A	S
オ 障害者・児のための作品展の開催を支援します。										0事業			
カ 市内小中学校の音楽会や鑑賞事業、市内中学校におけるクラブ活動発表会などの子どもたちの文化事業の実施を支援します。										2事業			
芸術鑑賞事業の実施	通年		0校		○				例年、利用校が1団体と少なかったが、コロナの影響もあり利用がなかった。	C	-	-	C
チャレンジ支援事業	通年		2件 2校		○				コンクールに挑戦する中学校クラブに対し、本番前に舞台に立つ機会を提供することで、日頃の成果を発揮してもらう取組。R2年度はコロナでコンクールの中止が多かったが、配信によるコンクールが行われた際に、配信の参加の場合も利用できるように枠組みを広げて実施。	A	A	A	A
キ 庁内のさまざまな施策と連携し、文化活動を通じた子どもたちの健全育成や地域の魅力づくりに努めます。										0事業			
ク 市民や文化団体等の主体的な芸術文化活動の支援、育成に努めます。										2事業			
自泉会館指定管理者(岸和田文化事業協会)への事業委託(3件)	通年	入場者数	215名		○			○	自泉会館の活用促進事業として3事業を実施。企画を尊重しつつ、連携しながら支援していく。	A	A	A	A
共催事業の実施(2件)	通年	入場者数	203名					○	マドカホールを会場とした事業に対し、会場負担の支援。	A	A	A	A

■文化会館(マドカホール)				0歳 ～就 学前	小学 生以 上	妊産 婦	障害 者・高 齢者	その 他	自己評価	来場者 満足度	入場率	事業実 施者	
ケ ワークショップや講座の開催など文化活動の普及に努めます。				1事業									
アートマルシェの開催(第11回アートマルシェ)	参加者	258名		○	○			○	市民が文化芸術にふれるきっかけづくりを目的としたワークショップ。年々定着してきており、リピーターも多い。引き続き、新規参加者の拡大を目指し、魅力あるプログラムを提供していきたい。	S	S	A	S
コ 3館合同事業による市民参加や体験の機会を創出します。				1事業									
3館合同企画 おはなし×あそび きっしやん“の”シリーズ シリーズ1	入場者数	38名		○	○			○	浪切ホール・自泉会館と合同で開催。各館それぞれ違う材料を使用して自分の身体からワニを作成した。ワークショップの最後には、作成したワニが登場する小さな劇を観賞し、親子そろって楽しめる素敵な催しとなった。	A	S	B	S
サ 国際交流を通じた青少年の異文化交流や異文化理解に努めます。				1事業									
姉妹都市米国カリフォルニア州サウスサンフランシスコ市 青少年受入事業	中止	-名						○	青少年海外交流事業として、姉妹都市である米国サウスサンフランシスコ市へ青少年を派遣した。現地での生活体験や地域の人々との交流を通じ、国際化の一翼を担う人材の育成を図っている。青少年はスピーチやパフォーマンスを通じて、日本や市の魅力の発信に努めた。	B	-	-	B